

第6章 人口減少対策と地方創生実現に向けた取組み

1 現状と課題

日本全体で少産多死の流れが顕著となり、首都圏への一極集中の流れとともに、地域における人口減少問題が大都市圏の一部を除くすべての自治体における喫緊の課題となっています。

勝山市においても人口の減少が急速に進んでおり、人口減少が地域経済の縮小を呼び、経済縮小が人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥っています。

こうした状況を踏まえ、人口減少問題の克服・緩和と地方創生の実現に向けた「勝山市地方創生総合戦略」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を策定しました。

今回の第5次勝山市総合計画の改定では、勝山市地方創生総合戦略で設定している市の特質を活かした4つの重点戦略の内容を基本計画に盛り込みましたが、今後の人口減少対策をはじめとする地方創生の実現に向けた重要な施策として、この章で改めて総合戦略の概要を掲載するとともに、勝山市地方創生総合戦略中の4つの重点戦略に掲げた各施策を、第5次勝山市総合計画の基本計画（第1章～第5章）に再整理して、該当する箇所を示します。

2 重点戦略

（1）ひとの流れを変える（定住化促進）

ジオパークの豊かな自然と歴史の中に暮らす魅力を高めて、定住化を促進する

■基本的な考え方

人口の地方分散に関し、「人の誘致」に向けて激化する地域間競争に勝ち抜くため、「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」が持つ、地形・地質をベースとする地域固有の歴史や伝統文化、生態系、風土等の魅力を他の地域に対するアドバンテージとしてアピールするとともに、さらなる移住・定住の促進に向けた施策を強化します。

また、本市の基幹製造業である繊維や化学産業が先端産業であることをアピールするなど、その魅力を発信して若年労働力の流出抑制につなげます。

そして、市民に勝山市の魅力を再認識していただけるよう努めるとともに、特に子どもたちの郷土を愛し、誇れる心を育てる教育を推進することにより、地元に着住する、あるいは志を遂げて後にふるさと勝山に帰ってくる人材を増やします。

■主な重点項目

第1章「全ての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり」

3－(1) 恐竜を活かしたまちづくり（恐竜溪谷ふくい勝山ジオパークの推進）

(P12)

- ・ジオサイト等の地域の遺産を活かした教育の普及とジオツーリズム活動の推進
- ・市民に対するジオパークのわかりやすい周知
- ・ジオサイト等の遺産の保全・保護・整備とその活用
- ・国内外にある他のジオパーク地域との連携

3－(5) U・Iターンの推進 (P15)

- ・勝山市出身の若者やアクティブシニア等へのふるさと回帰の働きかけ（きめ細かな情報提供・強化）
- ・地方創生の流れの中で国の機関や県等と連携した事業の展開
- ・市内企業等への定住情報提供による市外からの就職希望者へのPR
- ・市内小中学生やその保護者への地元企業のPRによる市内への就職促進
- ・若い世代の市外への流出防止に向けた専門学校等誘致の検討
- ・お試し移住体験施設の設置
- ・定住化促進事業の推進
- ・鹿谷雇用促進住宅の取得検討
- ・U・Iターン者空き家住まい支援と多世帯同居支援の推進
- ・移住定住のインセンティブとなる、新たな補助制度等の検討

第3章「にぎわいと産業の振興、連携による持続可能なまちづくり」

1－(2) 循環型農業を基軸とした勝山型農業の推進 (P39～40)

- ・田舎暮らし体験による交流型農業の推進

4－(1) 活力ある商業経営の支援 (P43～44)

- ・若者が楽しめるレジャー施設・店舗等の誘致検討やイベントの開催

4－(2) 地元企業への支援 (P44～45)

- ・中高生への市内企業情報のPR
- ・ハローワークと連携した雇用対策の実施

第5章「豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり」

3－(3) 自然体験学習・ジオパーク学習の推進 (P72～73)

- ・学校教育におけるジオパーク学習の実施
- ・ジオパーク市民講演会やジオパークセミナー等による市民への学習機会の提供

(2) しごとづくり（雇用の創出）

勝山の地域資源をさらに磨き、U・Iターンに向けた多様な仕事と需要を生み出すなど、多様なチャレンジが可能な仕組みをつくる

■基本的な考え方

勝山市のジオパークの構成資産である恐竜化石に代表される地形・地質遺産や史跡、歴史的なまちなみなど、市内の地域資源をさらに磨き上げ、近隣市町との広域的な連携のもと、特に宿泊客の一層の増加を図るとともに、観光消費額の拡大と新たな雇用・起業の創出につながる観光の産業化に向けた取組みを進めます。

また、川魚や里芋、雪といった勝山ならではの大地の恵みや、地元の工業製品等を地域資源としてブランド化し、新商品開発や観光誘客、市のイメージアップに活用していきます。

さらに、都会ではできない新しい試みにも果敢にチャレンジできる、ときめき感のある勝山を創造します。

■主な重点項目

第1章「全ての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり」

5－(1) 市民が主体となった地域力の向上 (P19)

- ・地域が主体となったコミュニティビジネスへの支援

第3章「にぎわいと産業の振興、連携による持続可能なまちづくり」

1－(2) 循環型農業を基軸とした勝山型農業の推進【再掲】 (P39～40)

- ・地域特産品開発と販路開拓の推進

4－(1) 活力ある商業経営の支援【再掲】 (P43～44)

- ・地場産業を活かした土産物開発・販路開拓への支援
- ・若者が楽しめるレジャー施設・店舗等の誘致検討やイベントの開催
- ・小売店や宿泊施設等におけるクレジットカードや電子マネー決済の導入促進

4－(2) 地元企業への支援【再掲】 (P44～45)

- ・新しい産業への誘導（新技術・新製品開発への支援、産学官金連携による支援体制の構築、農商工連携にかかる事業の推進）
- ・ものづくり技術・研究開発支援制度の充実

4－(4) ソーシャルビジネスへの展開支援 (P46)

- ・起業を支援するためのNPOや企業とのネットワークづくり支援
- ・医療、介護、福祉等の連携による新たなビジネス構築に向けた取組みへの支援

4－(5) 企業立地・誘致の推進 (P46～47)

- ・積極的な企業立地に向け企業ニーズを捉えるための人材の確保
- ・企業立地推進に向けた助成制度の充実

基本計画【第6章】

- 5－（1）観光資源の活用による経済の活性化（P47～48）
 - ・勝山市観光まちづくり株式会社による着地型観光の推進
- 5－（2）環境整備による周遊性・滞在性の促進（P48～49）
 - ・道の駅の整備推進
 - ・長尾山便益施設「ジオターミナル」の整備促進
 - ・旧料亭花月楼とはたや記念館ゆめおーれ勝山を拠点としたまちなか周遊観光の推進
- 5－（3）観光営業の強化による誘客の推進（P49～50）
 - ・首都圏からの誘客推進
 - ・福井観光コンベンションビューローと連携した人が多く集まる大会の誘致
- 5－（4）インバウンド観光の推進（P50）
 - ・越前加賀インバウンド推進機構と連携した海外からの誘客推進
- 5－（5）広域観光の展開による認知度向上（P51）
 - ・広域観光推進による市内での宿泊者増加
 - ・自治体が連携したPRによる誘客の推進

（3）ひとづくり（人口の自然減対策）

縁結びから子育て、教育まで、充実した環境の中で、勝山を誇れる次の世代を育てる

■基本的な考え方

地域ぐるみで結婚を促す環境を整え、婚姻率を高めて出生率の向上に努めるとともに、安心して子育てができる環境を充実します。

また、県内でもトップクラスである本市の子育て支援策やESD、英語強化教育、市内全小中学校に対するユネスコスクール認定など、特色ある本市の教育を、より積極的にPRし、教育に熱心な若い世代から選ばれる勝山市をめざします。

さらに、ジオサイトを活用して子どもたちがふるさと勝山のすばらしさを発見・体験できるような取組みを進め、誇りと愛着を持ってふるさとに寄与する人材を育みます。

■主な重点項目

第1章「全ての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり」

4－（2）男女がともに思いやり責任を担い合う社会の実現（P17～18）

- ・子育て・介護しながら働く女性への支援

第2章「誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり」

4－（1）結婚支援策の充実（P27）

- ・結婚相談員による相談体制の強化

基本計画【第6章】

- ・ SNSや県・市ホームページ、フリーペーパー等の情報誌を活用した婚活情報発信の強化
 - ・ スポーツ活動をはじめとする体験型イベント等を通じた出会いの場の創出
- 4－(2) 出産支援体制の充実 (P28)
- ・ 出産支援連携体制の支援と情報発信
 - ・ 産後ケアへの対応など出産前後における支援体制の充実
 - ・ 産婦人科医の確保に向けた関係機関への働きかけ
- 4－(3) 子育て支援策の充実 (P28～29)
- ・ 子ども医療費助成の対象年齢拡充
 - ・ すくすく育成奨励金の継続
 - ・ 保育料軽減の継続
 - ・ 放課後児童対策にかかる児童センター利用料金の無料化の継続
 - ・ 児童インフルエンザワクチン予防接種助成等の充実
 - ・ 子どもの居場所づくり
 - ・ 病児・病後児保育の充実
 - ・ 障がい児保育の充実
- 5－(1) 地域医療体制等の充実 (P30)
- ・ JCHO福井勝山総合病院の機能の維持・充実
 - ・ JCHO福井勝山総合病院とかかりつけ医の連携に向けた働きかけ

第5章「豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり」

- 1－(2) 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実 (P66～67)
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成、一人ひとりに応じた教育の充実につながる授業の改善
 - ・ 環境教育やふるさと教育等を柱としたE S Dの推進
 - ・ 教育活動全体を通じた道徳教育の推進
 - ・ 保育園・幼稚園・小学校・中学校相互の交流・連携・接続の取組みの充実
 - ・ 特色ある学校づくりや自主的・自立的な学校運営実現のための、保護者や地域との連携
 - ・ 教育成果を向上させる学習環境の整備

(4) まちづくり、暮らしづくり

**豊かな地域コミュニティの中で、いつまでも健康で、安全・安心に
暮らせるまちを創る**

■基本的な考え方

市民の皆様が、安全・安心に安定した暮らしを続けられるよう、防災・医療・福祉など市民生活の根幹に関わる生活・社会基盤を充実するとともに、積雪の克服と雪への親和・活用に向けた取組みを進めます。

買い物やレジャーを楽しめる場所の創出については、勝山市の立地条件や人口規模を考慮した上で、ジオパークに象徴される市の自然の地域資源を活かした形でのアウトドア関連のレジャー施設や特色あるショップの充実・誘致等について検討を進めます。

■主な重点項目

第2章「誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり」

2－(1) 高齢者の生きがいと健康づくりの推進 (P23)

- ・ 高齢者の健康づくりの推進
- ・ 介護予防・生活支援サービスの充実
- ・ 地域の高齢者見守り活動の推進
- ・ 元気な高齢者によるボランティア活動や活躍の場の提供による生きがいの推進

2－(3) 高齢者総合相談・支援の充実 (P24～25)

- ・ 地域包括支援センター「やすらぎ」のPRと総合的な相談機能の強化
- ・ 介護者の負担軽減と健康保持に向けた対策の充実

5－(1) 地域医療体制等の充実【再掲】 (P30)

- ・ JCHO福井勝山総合病院の機能の維持・充実
- ・ JCHO福井勝山総合病院とかかりつけ医の連携に向けた働きかけ

6－(3) 総合的な防災体制の確立 (P33～35)

- ・ 地域防災拠点のあり方の検討
- ・ 防災備蓄の充実、地域防災拠点への分散備蓄
- ・ 情報伝達方法として防災行政無線の増設と防災情報の多チャンネル化研究・構築
- ・ 防災リーダーの養成、地域が主体となった自主防災組織の設立・支援
- ・ 地域における受援力向上に向けた研修会等の実施
- ・ 避難行動要支援者の登録促進
- ・ 基礎的コミュニティの高齢化と核家族化を見据えた地域協働体制のあり方の検討

基本計画【第6章】

第3章「にぎわいと産業の振興、連携による持続可能なまちづくり」

4－(1) 活力ある商業経営の支援【再掲】 (P43～44)

- ・若者が楽しめるレジャー施設・店舗等の誘致検討やイベントの開催

第4章「美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり」

1－(5) 中心市街地の整備 (P55～56)

- ・消雪施設整備など冬でも安心して歩けるまちづくり

2－(1) 利用しやすいバス体系の整備と利用促進 (P56)

- ・住民ニーズを取り込んだバス路線の見直し・効率化

4－(2) 「勝山市総合克雪・利雪・新雪計画」の推進 (P61～62)

- ・道路における除排雪体制の拡充
- ・消雪施設の整備と維持管理
- ・豪雪時の除雪体制の確保
- ・簡易消雪設備の設置支援
- ・流雪溝の整備
- ・小型除雪機械による除雪への支援